



高野ムツ才選

父の日の父とおんなじバナナパフェ

川口市 清正 風葉

【評】存命の父との場面を想像するのも楽しいが、他界した父として鑑賞したい。天上の父と一緒に味わっている。パフェはさまざまあるが、バナナパフェが動かない。
父の日の父の祈りのわが名なり

大垣市 阿部まどか

【評】同じく父を偲ぶ句として味わいたい。父が命名した名には父親の子に託した願いが込められている。その名を担って、今を生きる。
言の葉のつもりで遠き梅雨の月

札幌市 伊藤ジョシユ

【評】蕪村の「遅き日のつもりで遠きむかしかな」を下敷きになっている。晴れを待ち焦がれた人々の呟きに応えるように梅雨の月が顔を見せた。キャタピラにぎらつく泥や沖縄忌

東京都 天地わたる

日に透けて四葩は飛びたさうな翅

東京都 岸 来夢

俳句とは何ぞ蚩は闇に生き

埼玉県 小町 季生

涼しさや縄文人の首飾り

宇都宮市 津布久 勇

大勢で見ても淋しき桐の花

横浜市 菅沼 葉二

ここからは二手に分かれ道をしへ

青梅市 青柳 富也

風青しエレベーターの上がる音

札幌市 茅根 稔

正木ゆう子選

神岩のスラブも抜ひ山開

東京都 朝田 黒冬

【評】神岩とは磐座のような巨岩だろうか。スラブは一枚岩のことだそうで、神聖な場に即物的な登山用語を使った点を新鮮に感じた。聖なる岩にも当然大自然の一面がある。
桑の実をふふめば空の明るさよ

静岡県 小沢 勝正

【評】晴れて明るいと解釈してもいいが、日が永くて夕空が明るい、と解釈したい。まだ明るい、夏至が近いな、と桑の実をふふんでいそう。
櫛形に切るのをやめてみるトマト

東京都 大岩 摩利

【評】林檎を輪切にしたり、西瓜を立方体に切り分けたり。ならばトマトだって。そういえば最近サイコロ状に切って使うことも多いトマト。
早苗植う所作の記憶や右の手に

武蔵野市 大谷由美子

明易や猫塀の上塀の下

対馬市 神宮 斉之

田水張り波切る鮎の背鰭かな

島根県 重親 映人

巢燕に敷くや戦渦の新聞紙

佐野市 村野 則高

襲われた燕の巢なり掃きよせる

松戸市 稲葉 豊美

亡き母の好物我も豆御飯

高槻市 平山 良志

紫陽花に遠き重機の響きかな

堺市 原山 桂子